

令和2年12月
第413号



11/8 琵琶峠に巣箱掛け



お
お
く
て



お
お
く
て



おもな内容

- ・大湫小学校記念碑除幕式 … p 2
- ・大湫町文化祭 … p 3
- ・中山道琵琶峠「森林体験教室」 … p 4~5
- ・大湫のミライ総合計画プロジェクト… p 6~7
- ・大湫をまるごと知り尽くそう … p 8
- ・医・食・住を見直すとき … p 9
- ・杉皮で草木染め … p 10
- ・集まろう会
- ・3年目の「モニタリング調査」を終えて

11/22

大湫小学校記念碑
除幕式

大湫小学校記念碑除幕式

建立委員会副会長

桐井 繁

令和2年11月22日、瑞浪市副市長勝康弘様をはじめとした来賓者6名、町内外の卒業生をはじめとした100名近くの参加者を迎えて無事に開催することが出来感謝しております。

今年の1月より歴代PTA会長、各区長、コミュニティ役員を中心として、この委員会が発足しました。途中コロナウイルスの関係もあり厳しい状況の中ではありましたが10回近くの会議、そして建立現場周囲の整備、等々の作業もありました。卒業生の名簿を提出する時に何十年ぶりに伺う家もあり、記憶も曖昧で家の場所が思い出せない事もあったり、久し

振りにその家の家族の方にお会い出来たりと本当に色々な事がありました。当日は進行役の大役為、喉がカラカラでカミカミだったが皆さんの手助けもあり無事終了する事が出来ました。

て「あくよ
かったな。
と思いま
した。コロ
ナが落ち
着き暖か
くなって
きました

式典終了後も各々の世代の同級生で記念碑と写真も撮っていました



ら当日来る事の出来な
かった方も是非見学に
来て下さい。
最後になります。が今回
の事業に協力していただ
いた皆様本当にありが
うございました。

大湫町文化祭

今年の大湫町の文化祭はコロナ禍の影響で芸能の部は中止。展示のみの開催となりました。

例年は11月3日の「文化の日」のみでしたが、コロナ感染予防のために密とならないように、さらには、たくさんの方に見て頂きたいということで、8日までの開催となりました。芸能の部に替えて、講堂をフルに使った広々とした展示はとても好評で



した。

幼稚園、小・中学生の書、絵画や粘土作品。大湫の子たちの作品も力作でした。

「消しゴムハンコの手ぬぐい作り」は大湫子ども会と公民館の共催で作りました。家族の花火写真。ふるさと大湫の「思い出の風景画」。大湫在住の陶芸家の

作品。竹細工の作品。集まろう会、山びこどん、「おたのしみ塾」の作品。写真、絵画、苔玉・寄せ植えも数多く出品していただきました。「丸森」で同時に開催された郷土の彫刻家「天野裕夫展」も好評でした。

天候にも恵まれ、市長、教育長、県議、市議の皆さんをはじめ、多くの方々に足を運んでいただき、ありがとうございました。

たくさんの方の作品の出品ありがとうございました。



中山道琵琶峠「森林体験教室」

瑞浪市農林課

令和2年11月8日に、大湫町と日吉町の間にある中山道琵琶峠を中心に森林体験教室を開催しました。大湫町民の方を中心にスタッフ含め約50名の方に参加していただきました

中山道琵琶峠は国の史跡に指定されています。瑞浪市では大湫町からの要望を受けて「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、景観の向上と安全面の向上のため琵琶峠沿いの間伐等の森林整備を行いました。また、琵琶峠頂上付近に東屋を設置しました。東屋

付近の樹木も伐採を行い眺望もよくなりましたのでぜひ一度お立ち寄りください。

森林体験教室では、間伐材を使用した鳥の巣箱づくり、植物観察、枝打ち体験、伐倒実演、巣箱の設置、琵琶峠散策と多くの体験をしていただきました。枝打ち体験で



琵琶峠頂上付近の東屋



枝打ちに挑戦中

は子供たちがハシゴに登り枝打ちに挑戦していました。伐倒実演ではなかなか観られない立木の伐採を見学し、大きな音と共に倒れる木を観て歓声が上がっていました。

今回の森林体験教室を通じて多くの方に森林について興味を持っていただけると幸いです。



家族で巣箱作り。お父さん
一生懸命です。

小鳥の喜びそうなきれいな巣箱で
きたね。



枝打ち体験



どんな小鳥が入ってく
れるのか、楽しみです
ね。

巣箱掛け

みんなで作る

大湫のミライ 総合計画プロジェクト 2020

11月12日に幹事会の皆さんと青年チームの合同会議を行いました。

自治組織 **産業振興** **移住・定住・子育て支援** の3つを重点施策

として意見を出し合いました。話し合いで出た意見の一部を紹介します。

1人がたくさんの役
- 時間的制約
- 役が重なる

町の1人1人が

1人1役

得意な人、やりたい人が
やる仕組み。負担を軽く!

自治組織

どういうことで
町に貢献できるかな?

役の整理・統合あり

- 計画の中に記載あり
- 年に1回見直しを議論あり

必ずやらなきゃ
いけないこと

+

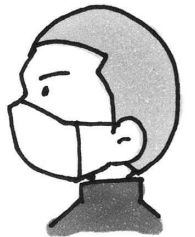
町に何か
必要か?

お祭り
とか!



- 草刈り
- 防災 町の機能!
- ゴミだしなど

- 仲良くやっていく
- 地域のみんなが寄る
- 理解と団結
- コミュニティができる



アンケートからも、役や行事の見直しを望む声が多く聞かれました。
今後も進む人口減少や高齢化に合わせ、見直しを進めることを
計画に記載し、来年度以降実施していきます。

当プロジェクトは令和2年度夢つり地域交付金(ステップアップ事業)に採択され、大湫町コミュニティ推進協議会が管理運営する事業です。実施は一般社団法人サステナに一部業務を委託します。



農業・林業
基盤整備

有害鳥獣対策

駆除する人間が減っている

里山を楽しむ
若者を増やしたい

獲った肉(イノシシなど)を処理する
ジビエ処理施設などで地域肉にするのはどうかな?

地元の食材
安全な食材 → 町 → お店

産業振興

レクリエーション農園

外の人の力を借りながら
農地・景観の維持はできないかな?

企業 ← マッチング → 資源

間に町が入って
企業連携できないかな?

山を整備することで
バイオマス発電は
できないかな?

薪ストーブやペレットストーブなど
山の資源を活用したい!

公共投資が必要?



空き家
移住

今は使える空き家は少なめ
→ おそらく十年後には
増えちゃう

子育てを応援したい!!

既に借りている人

貸している人から

ちょっとずつメリットを学んで
今後にはちゃんと貸せる状態に
していけないかな?

移住・定住 子育て支援

- 子育て親のネットワークづくり
- 集まる会などの活動応援
- 2オハ(夫婦ふたり)の状態を
地元で支えたらどうだろう

移住・定住の人を迎えるんだ!
ということを大事にしたい!!

こういう人に
住んでもらいたい

← →
こういう人から
借りたい!

マッチング
できるようにしたい!

年に何回か集まって
ごはんを食べる会を
やたらどうかな?

今は町に入った段階で
おわりになってるので
アフターフォローがあたり
いいなあ...

活動予定

11月までで今年の活動は終わりです。

年明けに改めてまとめた素案を見ながら会合する予定です。

新型コロナウイルス対策などに充分注意し、
状況によってはスケジュールの変更をすることがあります。

公民館講座

「大湫をまるごと知り尽くそう」

に参加して



E・O

この公民館講座は、わたしにとつて大変お徳でした。

小学校五、六年の担任教諭の専門が「社会科」であったことも手伝つてか、その後歴史に興味を持つようになりました。

中学の夏休みには課題学習を「大湫宿めぐり」と題して、それなりのモノクロ写真入りでまとめ、おおよその事は分っていたものの、それはまったく白紙に近い事が、この学習会で分かりました。学んだ事は多くありますが、配布資料のクイズから、二つあげてみます。

一、脇本陣（保々家）

問 「なぜ桔梗の家紋が付いてい

るの」

答 保々家一族が土岐氏の組に付いていた。

土岐宗昌と呼ばれていたが、その後保々宗昌に改めた。（だから宗昌寺なんですね）

二、観音堂

問 「大湫宿には過ぎたるもの」と言われる理由

答 精巧な彫刻・素晴らしい天井
絵・盛大な楽慶法要・歴史ある
観音像

私にとつては、昔は遊び場、今は、全く上を見ず、月一回の掃除をして帰る繰り返しですが、説明を聞き、もつと皆で掃き清め、宿と共に守り続けなくてはと錦に輝く紅葉をこの学習会の見納めとして帰ってきました。

大湫宿の「かたりべ」として沢山の資料を用意し細かく伝授していただきました事に感謝すると共に今後

ありがとうございました

大湫に縁のある方より、手作りマスクの寄付をしていただきました。

公民館の大湫町大杉再生募金箱に募金をしていただいた方々にさし上げました。皆さんに喜んでいただきました。

ありがとうございました

西組の近藤博子さんより、老人作業所に石油ファンヒーターの寄付をしていただきました。大事に使わせていただきます。

もより多くの方々へ伝えていただく事を説に願います。ありがとうございました。

医・食・住を見直すとき



江戸時代、貝原益軒という学者が、「養生訓」と云う本を出して、多くの病人を救った。

勿論、当時は漢方療法で山野に自生する植物や、動物の骨や、臓物を乾かして使用したもので、今の様に化学的につくられた薬はなくても多くの人が助かった。

年々食物の多様化によって、新規の病気が現れて、病氣と医師に薬のイタチゴッコが続いている。ましてや、新型コロナウイルスが発病しても対応出来る薬がなく、手洗いや、マスクで防いでいる状況である。

今春、中国で発生した新型コロナウイルスは、またたく間に世界各国

に飛火し、アメリカでは一千万人を超え、インド・ブラジルに大発生しており、ヨーロッパ各国にも第三次発生をしている。

的確な予防薬が出来るまでは自助努力で防ぐしかない。一日も早く治療薬を官民上げてつくり出さなくてはならない。禍を福にするため、首都圏の人口過密に対し、地方は人口減少に集落が消滅して行く処が続出している。「禍を福」とするために国の取り組みに期待したい。

天野 長三郎



釜戸小学校3年生の方から

「くぎうちトントン」のお礼のお手紙届いています

釜戸小学校3年生の図工の「くぎうちトントン」で大湫から釘打ち指導に行かれた方、ご苦労様でした。お礼のお手紙が届き公民館に貼ってあります。見て下さいね。

杉皮で草木染め

田村 啓

11月14日に、神明大杉の既に切り取られた部分の皮で草木染を行いました。その際に9月19日に行われた「子供たちのための倒木被災大杉見学会及び皮剥ぎ」で剥がされた杉皮もありがたく使わせてもらいました。杉皮の草木染は、鮮やかな色ではないし、化学染料



に比べれば手間も時間もかかりません。それでも、ここにあるものを材料として使っていく。色が変わってしまった衣類もまた染め直し、長く大切に使うていく。物事の移り変わりが激しい現代だから、そんな気持ちを大切に楽しんでもらえたらと思います。今回の講座を企画しました。

講座の参加人数は14人。良い天気に誘われてか気がつくくと参加人数以上の人が会場の旧大湫小学校運動場跡に集まって、思い思いに秋の大湫町を楽しんでいたようです。

杉皮での草木染は皮を細かく切って煮るところから始めました。皮は1300年の重みなのか、分厚いものも多く細かく切るのなかなか大変な作業だったようです。その皮を煮出し濃い茶色の染液を作りました。

その間に「しぼり」をして、染めた後に模様が出るようにそれぞれ工夫を凝らして作業を行っていました。しぼりの終わった布を染め液に浸し20分。取り出し水洗いし、触媒液に浸すこと20分。この作業を2回繰り返しました。染め上がった布は優しいオレンジ色です。鮮やかではありませんが、秋の大湫らしい優しい色合いをしていました。染まりへの期待と不安はありましたが、いざ出来上がって見ると思い思いのしぼりの模様や色合いに参加者も嬉しそうでした。染め上げた布と一緒に記念撮影をして、その日の講座を終えました。自然のものを使って、屋

外での作業がとても気持ちいい
一日になったと思います。

講師のよこい先生によると、身
近な植物で草木染ができると言わ
れていました。触媒もミョウバ
ン、塩、酢、鉄といった家庭にあ
る簡単なものです。草木染は、時
間がかかりますが、そこまで複雑
なものではありません。染めの特
性上、皆で集まってたくさん染め
る方が効率がいいと言うこともあ
りますが、天気の良い日に集まり
ワイワイと草木染を行うのもいい
かもしれませんね。出来上がった
もののよし悪しはもちろんありま
すが、こうした作業にもものづく
りの喜びが見えてきた気がします。
今回参加できなかった方、もっと
やって見たかった方、また他の素
材でも染めをやってみ
たいのでその時は是非
ご一緒しましょう。



せらおこ 2020年 12月の集まろう会

東栄町ミニテ
レックス協議会
集まろう会

☆太鼓は.....11月23日、志多らの太鼓指導を受けました。
ワークショップでは、基本の姿勢や、たたき方を、その後のミニライブでは、
素晴らしい演奏をみせていただきました。みんな、目を輝かせて吸い
込まれそうでした。みんなが大好きな「楽」も教してもらいました。

☆志多らメンバーの紹介です。

志多らへ来てから、こん
なに「うどん」の好きTはん
だと気がついた。太鼓から
華々がもらえるので今度は、
私からみんなに伝たいと
思ったよ。『うどんちゃん』

家族で何か楽しめる
ことが、あるといい。
集まろう会の太鼓も、家族
太鼓で、とていい。
『継子ちゃん』

太鼓のミニライブが、体に
ひびいてきたよ。
『ももちゃん』

東栄町で生まれました。
家族で太鼓をやっていて
あまり身近すぎて、関心が
なかったけど、学校の太鼓部
へ入って、太鼓の奥深さが
わかった。
『元くん』

☆次回は、12月6日 10時~12時
です。また、かんぱりましょう。

三年目の「モニタリング調査」 を終えて

自然界は「保守的」にできているのだろうか。動いている物は動き続け、留まっている物は動かない。流れる電流は、流れが遮断されようとするとき、それに抗う。だが、抵抗に勝る力が働くと均衡は一挙に崩れる。

人間の生産活動に伴う様々な大規模開発は、ともすると自然破壊となり、均衡状態にある自然は大きく崩れる。

「日本の自然に何が起きている？」。環境省はこれを見極めたいと、2003（平成15）年からある事業を始めた。それが「重要生態系監視地域モニタリング推進事業」（環境省HP）。これ



生育域を拡大中のツマグロヒョウモ

に大湫町自然保全委員会も参加している。全国約1000カ所のモニタリングサイト（調査地）で行わ

れる。対象は植物だけでなく鳥・蝶・ホタル・カエルなど多岐にわたる。

2020（令和2）年の3月、3期15年間の結果が



植物を見て回る観察者

報道機関に公表された。それによると里地里山では「調査したチョウ類の約4割の種で減少」。高山帯調査から、ハイマツの枝の伸びる量により「夏の気温の上昇が推定」できた。たかだか15年間だから確たることは言えないが、変化の始まりを示唆するのだろう。

自然保全委員会がこのモニタリング調査に参加したのは、2018年。委員会で定めたコースが登録され、コース周辺にある植物と蝶を調べる。現在は4期目の途中。今年で3年を終えた。

この3年間、大湫で「何か変わった？」と、問われれば「特に変化はない」。少なくとも目に見える変化はない。少しずつ変わる変化には気付きにくいものだ。気付い

たときには「時すでに遅し」なのだ。かつて日本が15年間の戦争に突入したときのように。

地球温暖化による気候変動が進めば、自然界の一員であるヒトも安泰ではいられない。

気象庁は、「生物季節観測」を2021（令和3）年度から止めるといふ。生物季節観測とは、桜の開花日や、ウグイスの初鳴きなど、生きものの様子を調べることだ。調査対象として今まで行ってきたのは、植物34種と動物23種。それを、植物の6種に限定する。止める理由は、対象の生きものを見つけることが難しくなったからだという。

裏事情としては予算に困ってだとも伝えられる。気象庁の職員自らが観測し、データを集めることは人件費と直結するだろうから止める判断も分からぬでもない。科学へ投じられる



国の絶滅危惧Ⅱ類。カザグルマ

国家予算の少な
さが、こんな所
にも影響してい
るのだろうか。

「生きもの」

で知るの、季節
感だけではなく、

長期的な気候変

動を知る上で重要な観測なのだ。ヒトも

「生きもの」の一員だからだ。

「モニタリング調査」は、研究者やNPO・市民がかかわる。一般サイトの調査は市民ボランティアによる。「中山道大湫宿」(調査サイトの正式名称)もこの一般サイトだ。自然保全委員会を中心に町外からの参加者



朴葉沢で観察する調査員

も含め、毎回10名ほどが参加し調査する。種の同定(名前を確定すること)にてこずることも少なくない。ビッチユウフウロウ(ゲンノショウコの仲間)やスズカアザミ、な



在来の野生ラン、クマガイソウ

どの同定に迷った。テンナンショウ(サトイモ科で秋に赤い実がよく目立つ)やスミレの仲間も種名を決める上で苦勞し、「あれか」「これか」と侃々諤々。約4kmのコースを回るのに2時間半ほどかかる。

「これは嬉泣かせ」「オミナエシって、イヤな匂いですよ」「花はどうして匂いを出す?」「香りで悩殺って本当?」「キツネノマゴ、スズメノカタビラ、カラスノエンドウ。動物名が頭に付く名前も多いですよ」「イヌタデ、イヌザンショなんかは、役立たずの意味で使ってる」「半ば冗談めいたというか、何で?と疑いたくなるような、ママコノシリヌグイというのもありますよ」。

話題は尽きない。植物をテーマに話しはあちらに行ったりこちらに來たり。2時間を超す歩きも氣になら



「天の川」か? 白い煙か? シラタマホシクサ

ない。

10月の調査日。丁度シラタマホシクサやシラヒゲソウ・ミカワシオガマが見頃の情報で、調査終了後、自生地を延ばした。大湫の豊かな自然は健在だった。来年は、クマガイソウの開花と観察日が合致し、見に行かれることを期待している。

植物も一度生息すると簡単に他の種にその地位、場所を譲らない。同種・異種間のせめぎ合いとなる。持続可能な状態を目指すのは人間どもばかりではない。植物の「社会」も同じように思える。里地里山は数百年に及ぶ長い間、人間の生活と自然が関わり合いながらその均衡を保ってきた。人の生活が変わり、過疎化が進行する里地里山は、これからどうなるのだろう。見届けられはしないが、心配は尽きない。

「生きもの」の社会に大打撃を与えているのは人間のようだ。「経済優先」が自然を壊し、時には、「経済」が人の命を奪う。大湫の自然を通じ日本の自然と社会を見つめながら、残る2年間の調査に参加したい。

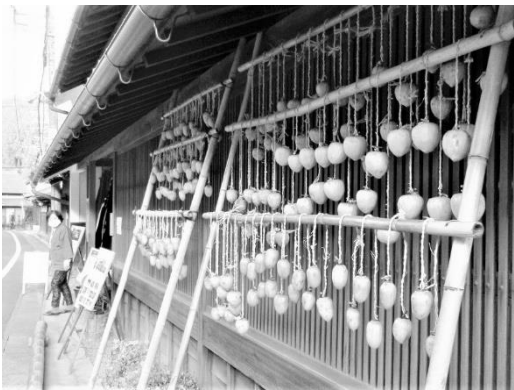
長谷川 明

11月の丸森だより

11月23日現在

11月の企画と丸森の様子

- 『天野裕夫 彫刻展 御神木再生 I』展示 (10/24～11/8)
- 『大湫小学校の思い出』展示 (11/9～11/22)
- 大杉モニュメント検討提案(未定プラン)
天野裕夫 第2案『エスキース～兎塔(うとう)』展示 (11/18～)
- 『丸森で撮る季節の写真』
加藤典子さん(明世町)撮影の多治見市美術展市長賞入賞作品の展示 (11/23～11/30)



10月の末から、丸森の連子格子の軒下に恒例の吊るし柿が並びました。今年は裏年のようで、数を揃えるのに苦労しました。ちょっと小振り。

昨年と同じころに撮影した明世の加藤さんの作品。丸森の晩秋の風景が撮り込まれています。

釜戸坂をはじめ、周りの山々もすっかり色づき、まさに錦秋。コロナを気にしながらも屋外での行楽を楽しむお客様も目立ちました。

11/8. 好評のうちに終了した『天野裕夫 彫刻展 御神木再生 I』展。1300年の時の重さを内包し、落ち着いた中にも激しいエネルギーを感じさせる大杉という素材に触発された天野裕夫の、自由で雄大、天衣無縫な発想を、確かな技法で完全にコントロールし切った見事な作品群でした。

さらに、第1案の『烏帽獅子(えぼしし)』につづく、大杉モニュメント提案(未定プラン)『エスキース～兎塔(うとう)』は、大杉の今後の在り方の検討材料として、しばらく展示します。

続く『大湫小学校の思い出』展。故安藤秋義さんのビデオ上映も併せて、懐かしく幸せな世界でした。最終日 11/22 の記念碑除幕式の後には、多くの方々に来場して頂きました。

謎のプロペラ。「三式艦上戦闘機」は、アニメ映画「風立ちぬ」にも登場する複葉機。昭和7年の上海事変で活躍し、日本で初めて敵機を撃墜した名機。もしかしたら“大湫には過ぎた”貴重な物かも知れません。

それ以上に素晴らしいのは、やはり生徒



たちの卒業制作。6年間の思いを、丁寧に力強く描き込んだ素晴らしい作品です。次の展示は何時になるのか…。永のお蔵入りとは本当にもったいない。後ろ髪をひかれる思いで搬出しました。

*10/29 瑞高生 70 名、地域探求連携事業で来宿。

案内板補修、生活道の補修、高齢者との交流などテーマを決めて地域の問題を考え、連携して問題解決にあたる。よく考えられた事業(授業)でした。

*11/12 釜戸小 3 年生来宿。中津川コーラスの会来宿

*11/23 釜戸道の駅プロジェクトチーム「かまどベース」視察来宿

瑞恵バイパスに開業予定の釜戸の道の駅を考える地元チーム。大湫への新たな入口ともなる道の駅の在り方を探ることは、私たちにとっても他人事ではありません。

11 月丸森訪問者

11 月 23 日現在

町 外		町 内		合 計	その内 (外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
485	27	148	18	678	0
				R2,4 月～ オープンから	2008 人 33128 人

12 月予定

*12/7 大湫宿ボランティアガイドフィールドワーク 大湫北半球

*12/20 門松づくり

*12/27 仕事納め、大掃除 *12/28～1/4 年末年始休業休館

12 月の企画

●『お正月飾り～餅花 on 御神木の台座～』展示即売
(12/1～)

お知らせ

① 丸森が「こども 110 ばんのいえ」に登録しました。

『もしもの時は丸森に逃げ込もう!!』




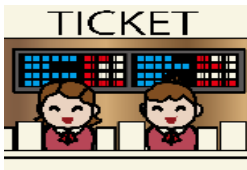



丸森は毎日 8:30～5:00まで開いています。

② 12/15～2/28。丸森アカウントを開設し、大湫宿観光インスタグラムキャンペーンを開始します。入賞者には豪華賞品。詳細は後日発表。



大湫公民館・大湫コミ (大湫町コミュニティ推進協議会) からの

お知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも” だより 12月～3月までの活動はお休みします。</p>
	<p>おしゃべりサロン『こぶし』(100円コーヒー) 当分の間お休みさせていただきます</p>
	<p>大湫宿お休み処 12月～3月はお休みさせていただきます。</p>
	<p>ご招待券あります 1枚(2名入館できます) 煌めきの洋食器 山五陶業と Golden State Porcelain 期間:令和2年10月31日～令和3年2月28日 場所:瑞浪市陶磁資料館</p>
	<p>オススメ!! 大湫分室の本 『ものがたり茶と中国の思想』 佐野典代:著 平凡社:刊 じわじわと体に効いていくお茶に。中国の皇帝や権力者は、死なない命の望みを託したそうです。皇帝に献上されたお茶を飲みたくなった著者は、さっそく現地に向かいます。</p>
	<p>青色回転灯防犯パトロール 12月のパトロール予定者 12月上旬:足立 亘:奥村 寛 12月下旬:三戸 憲和:渡辺 貴憲</p>
	<p>デマンド交通 利用者(大湫～日吉東部ルート) 10月:33便 延べ 45名</p> <p>皆さん、たくさん利用 ください。</p>

区長日記

コロナウイルスの第三波が全国で猛威を振るっています。師走と言われるほど、人々が忙しく動き回る12月ですが、一人ひとりの行動様式に十分な注意を払い、健康で新年を迎えたいと思います。

11月初旬の文化祭、8日に行われた琵琶峠森林体験教室、22日に実施しました大湫小学校記念碑除幕式と、大湫町にとっては大きな行事を、好天に恵まれ順調に取り組むことができました。

これもひとえに、関係者をはじめ町民の皆様のご支援の賜物と、心から感謝申し上げます。有難うございました。ご来賓の皆様からも、「大湫はすごいね、大杉だけでも大変なのに新しいことに勇気をもって取り組んでいる。町民のまとまりの良さやね。」と声をかけていただきました。

まだまだ課題は山積していますが、皆で力を合わせ前へ向かって進んで行きたいと思えます。

足立

11月1日 大湫町民文化祭準備

3日 大湫町民文化祭市長教育長訪問

6日 区長会・幹事会

8日 琵琶峠森林体験教室

12日 大湫町総合振興計画検討会

14日 大杉「草木染」製作プロジェクト

16日 釜戸「道の駅」検討会議

17日 ㈱TYK「大杉」支援依頼

18日 第8回大杉再生検討会議

19日 「大湫病院」総合計画ヒヤリング

20日 ㈱高砂工業「大杉」支援依頼

21日 大湫小学校記念碑除幕式準備

22日 大湫小学校記念碑除幕式

23日 新嘗祭・「道の駅」釜戸ベース大湫訪問

24日 「営農組合」「東濃プロイラー」ヒヤリング

25日 瑞浪市景観審議会

27日 瑞浪市行政改革審議会

30日 瑞浪市自治連合会議

三	二	二	二	二	二	一	一	一	一	一	十	六	五	四		
一	八	七	六	五	〇	六	五	三	二	一						
木	月	日	土	金	火	水	火	日	土	金	木	日	土	金		
大晦日	仕事納め	公民館講座「蕎麦打ち体験」	広報委員会	小・中学校終業式	財産区会議	ふれあいセンター大掃除	門松作り	大杉再生検討会議	交通安全街頭指導 公民館講座「お菓子を作ろう」	大しめ縄かざり	子ども会クリスマス会 若手有志の会大杉ワークショップ	瑞浪市防犯推進の会特別警戒出発式	転入対策委員会	集まろう会 「こんにやく芋から こんにやく作り」	公民館講座 「こんにやく芋から こんにやく作り」	定例区長・幹事会
不燃ごみ:12/4(金) : 資源ごみ:12/18(金)																

令和二年十二月行事予定

大晦日12/31の予定

- ・大湫町越年マラソンは中止となりました。
- ・宗昌寺でのそばの提供は今年はありません。
- ・宗昌寺での除夜の鐘は、11時45分くらいから撞くことができます。参加してください



融雪剤あります

いつもの所(北地区)にあります。利用される方は、集計表に名前、月日、利用個数の記入をお願いします。



12月のクテの市

木曜日： 3日・10日・17日
日曜日： 6日・13日 今年度最後となります。

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 令和2年12月1日 瑞浪市大湫町 422-1 ☎0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp>